

## 石淵ダムが姿を現す

～胆沢ダム試験湛水の水位降下に伴い奥州湖に再び出現～

平成25年度の完成に向け、試験湛水を行っている胆沢ダムでは、現在、最低水位到達に向けて貯水位の降下を行っています。

このため、平成25年3月29日に奥州湖に水没した石淵ダムが、再びその姿を現しはじめました。

石淵ダムは、胆沢ダムの試験湛水に伴う貯水位の上昇により、3月29日に堤頂部まで水につかり、完全に奥州湖に沈みその姿を見ることができなくなりました。

奥州湖の貯水位は、5月6日午後9時に最高水位に到達し、以後1日当たり1mの速度で水位を低下していましたが、10月1日9時現在、貯水位は、標高314.6mまで下がり、石淵ダム（堤頂部の標高323.0m）が再びその姿を現しています。

石淵ダムは、胆沢ダム建設によりその役割を終えましたが、今後胆沢ダムの湖底に土砂が流れ込むのを防ぐ新たな機能としての役割を担っています。

試験湛水は、今後、最低水位（標高304m）まで水位を降下させ完了する予定です。

※試験湛水及び石淵ダムの現在の状況は胆沢ダムホームページで確認できます。

（胆沢ダムホームページURL <http://www.thr.mlit.go.jp/isawa/>）

〈発表記者会：奥州記者クラブ、日刊岩手建設工業新聞、建設新聞社〉

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所	
電話	0197-46-4711（代）
	ふじわら まさゆき
副所長（技術）	藤原 政幸（内線204）
	いいだ まなぶ
調査設計課長	飯田 学（内線351）

## 胆沢ダム【奥州湖】の貯水状況

平成25年9月30日撮影



胆沢ダムの上から石淵ダムを望む



石淵ダム左岸より奥州湖を望む